

中川日出鷹

Hidetaka NAKAGAWA

ファゴット

Bassoon

リサイタル

Recital

〔出演〕 中川日出鷹 ファゴット
Hidetaka NAKAGAWA | Bassoon

法貴彩子 ピアノ
Sayako HOKI | Piano

高橋悠治 作曲
Yuji TAKAHASHI | Composer

〔プログラム〕

C.サン=サーンス | ソナタ op.168 (fg,pf)

H.ホリガー | 3つの小品 (fg solo)

– “Mathewmatics”

– “Mar^ter aller Arten”

– “Klaus-Ur”

G.P.テレマン | ソナタ へ短調 TWV41 : f1 (fg,pf)

R.シューマン | 幻想小曲集 op.73 (fg,pf)

高橋悠治 | 「連」Ren for Bassoon solo (委嘱新作初演) (fg solo)

C.ケクラン | ソナタ op.71 (fg,pf)

L.ベリオ | セクエンツァ XII (fg solo)

京都公演

青山音楽記念館
バロックザール

Barocksaal
青山音楽記念館

2024 / 10 / 20 (日)

開場 14:30 開演 15:00 チケット一律
¥5,000 (自由席)

本公演のプログラムは、バロック・ロマン派・近代・現代音楽の作品から多岐に渡って考究してきたレパートリーと、高橋悠治氏による委嘱新作によって構成される。

特に現代音楽への取り組みには想いを巡らせている。

現代音楽の関心が強くなったのは、留学時代に作曲家と奏法研究や新作初演をしたことがきっかけである。新たな奏法や音楽表現を共に探究する喜びは、当時の活動の原動力となった。このような経験を重ねることに自身の中で知識や技術が定着していったが、同時に新鮮さが薄れ、かつてのような喜びを感じられず自ら距離を置くようになった...

時を経て、再び開いた楽譜は過去の追懐よりも新しい発見で満ちていた。

現代音楽の第一線で活躍していた稀有な経験を活かし再び挑む。

L.ベリオ作曲「セクエンツァⅫ」は、留学時代に初演者であるガロワ氏から薫陶を受け、この作品に取り組み始め15年経ったが披露するのは今回が初めてとなる。

また高橋悠治氏の管楽器独奏曲にファゴットのための無伴奏作品が無かったことから、今回の委嘱作品が偉大な芸術家による新たなレパートリーとなることを確信している。

うつろいゆく中で、眺め、問い、探し、漂い、またどこかへ通じるきっかけに巡り合う。そんな公演になることを自身も楽しみにしている。

[出演者]



中川日出鷹 | Bassoon

日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者。Ensemble FOVEメンバー。東京音楽大学非常勤講師。京都市立芸術大学卒業。パリ地方音楽院、フランクフルト音楽大学大学院及びドイツ、アンサンブルモデルンアカデミー修了。

現代音楽に精力的に取り組み、これまでに藤倉大氏、坂田直樹氏、坂東祐大氏らの新作初演を行う。パリ国立高等音楽院やフランクフルト音楽大学、国内の大学等でワークショップを開催する。ルッツェルン音楽祭に多数出演し、P. ブーレーズ氏、P. エトヴェシュ氏、H.ホリガー氏の指揮のもとヨーロッパを中心に活動する。

またJ-POPや劇伴のレコーディングやメディア出演など幅広く活躍する。

京都市芸術文化特別奨励賞受賞。明治安田クオリティ オブライフ文化財団海外音楽研修生。



法貴彩子 | Piano

X @SayakoHoki

パリ国立高等音楽院、リヨン国立高等音楽院第3課程、パリ・エコール・ノルマル音楽院コンサーティスト課程を卒業。ヤマハ海外留学支援制度奨学生。

エビナル国際コンクール(フランス)入賞。フォーラム・ド・ノルマンディーにて現代曲賞等多数受賞。

第20回ABC新人コンサート最優秀音楽賞受賞。第23回宝塚ベガ音楽コンクール第1位および兵庫県知事賞受賞。

NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」「リサイタル・パッショ」に出演。国内外のオーケストラと共演。



高橋悠治 | Composer / Piano

HP http://www.suigyuu.com/yuji_takahashi/

1938年東京に生まれる。柴田南雄、小倉朗、ヤニス・クセナキスに作曲を学ぶ。1963 - 66年フランス、ドイツで現代音楽のピアニストとして活動。1966 - 71年アメリカで演奏活動とコンピュータ音楽の研究。

1972年から東京 1974 - 76年作曲家グループ「トランソニック」を組織して季刊誌を編集。

1976年から画家・富山妙子と映像と音楽による物語の共作をつづける。田中信昭との協同作業でこれまでに合唱音楽を20曲以上作曲。1978 - 85年「水牛楽団」で世界の抵抗歌をアレンジ・演奏。1980 - 87年月刊ミニコミ『水牛通信』発行。1991 - 2006年高田和子のために日本の伝統楽器と声のための作品を作曲。2012年波多野睦美 梶尾克樹と 声・バリトンサクソ・ピアノのトリオ「風ぐるま」。

著書:「高橋悠治/コレクション1970年代」(平凡社)、「音の静寂静寂の音」(平凡社)、「きっかけの音楽」「カフカノート」(みすず書房)

え・柳生弦一郎


[アクセス]

青山音楽記念館 バロックザール

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

〒615-8282 京都市西京区松尾大町9-1
(阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル)

Tel:075-393-0011
<https://barocksaal.com/>

会場の地図は右の二次元コードから
GoogleMap 

[チケット販売・お問い合わせ]

- ・青山音楽記念館 TEL:075-393-0011/受付 9:30 - 18:00(月・火 休館)
- ・ドルチェ楽器大阪店 infod@dolce.co.jp/TEL:06-6377-1117(店舗)
- ・日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911/FAX:03-5378-6161

[諸注意]

※未就学児の入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる場合があります。
※お買い求めいただいたチケットのキャンセル、変更はいたしかねます。※会場での録音、録画、写真撮影は固くお断りします。

[お問い合わせ先] ※メールでのみ承ります

中川日出鷹 hidetaka.bsn2024@gmail.com

[助成]

(公財)青山音楽財団

[後援]

(公財)日本フィルハーモニー交響楽団